

そして、川や海に
生き物たちが
戻ってきた。

4 にんげん 人間は自然と じょうず 上手にくらせる。

自然は私たちに多くのめぐみをあたえてくれます。人々が“自然を大切に思う心”をうしなってしまうえば自然はかんたんにこわれてしまいます。しかし、いつもその心をわすれることなく自然と向かい合うことができれば、自然をこわすことなく人々は自然と上手にくらしていくことができるのです。



かんきょう
江戸川区の環境をささえるのは、
みなさんひとりひとりの
せきにん
責任にかかっています。



江戸川区をとりまく水環境

江戸川区は江戸川、荒川、海にかこまれ、内部にも中小河川がながれて
います。その中でも江戸川は私たちの大切な水道水として使われてい
ます。また、江戸川区をとりまく水は「淡水」「汽水」「海水」域に分かれ、
多くの生き物がすみ、市内でも数少ない水環境にめぐまれた水辺の都市です。

たんすい
淡水

塩分をふくまない水(真水)

かいすい
海水

塩分がとても多く
ふくまれた水

きすい
汽水

淡水と海水がまじり
あった塩分の少ない海水

淡水
(大河川)

水生生物

淡水
(親水公園)
比鄰

水生生物

汽水
(大河川)

水生生物

汽水
(親水公園)
汽水

水生生物

海水

水生生物

家の

野原

川や池

野鳥

河川敷

野鳥

干渴

野鳥

興

野鳥



21世紀になった今、わたしたちの江戸川区には
さまざまな生き物がくらしています。これから
そのごく一部をしょうかいしていきます。